

参議院選挙制度改革に関する緊急要望

現在、一票の較差を是正するため、参議院選挙制度改革において、人口の少ない選挙区を統合する合区案が検討されている。

従来、都道府県単位で選挙区選挙が行われてきたのは、各地域によって状況や課題が異なることから、それぞれの地域事情を国会の議論に反映させることが国民全体の利益につながるという趣旨であると理解している。

一票の較差是正は重要な課題ではあるが、そのために、人口の少ない選挙区を合区することは、その地域が抱えている課題など様々な情報が国会に届かなくなる恐れがあり、このようなことから合区の対象とされている8県の知事が反対しているとともに、特に鳥取県では、市長会、町村会、市議会議長会及び町村議会議長会が合区案への強い反対意見を表明している。

国と地方が一層連携を強め、地方創生・人口減少克服を推進していくためにも、単に人口の多寡のみならず全ての地域の事情や声が国会に十分反映できる選挙制度とすることが必要であり、国会における慎重な検討・審議を強く求める。

平成27年7月23日

全国町村会